

〔記念講演「日本の出番、祖国は甦る」〕



青山 繁晴氏

青山氏はこの地兵庫県とゆかりの深い方であり、講演会の冒頭にて自己紹介と共に、ロータリークラブとの関係についてもお話を頂きました（ご尊父は元北条ロータリークラブ会員）。

講演の内容について

《共同通信の記者時代の経験を活かしお話を頂く》

世界情勢や時事問題、アメリカ大統領選挙、EU、難民問題（ドイツ）等、分かりやすくお話を頂き、特に戦時下の硫黄島のお話は会場の涙を誘いました。青山氏は壇上ではなく会場を歩き回りお話されたのが印象的でした。以下、講演内容をレジュメに従い纏めました。

わたしたちは、ほんとうの日本を知っているか

- ①日本はたった今も、「戦争に負けた、資源のない国」なのか。
- ②横田めぐみさんや有本恵子さんらの拉致事件はなぜ起きて、なぜ解決できないか。
- ③日本国憲法を、もはや右でもなく左でもなく、真ん中からみれば何が見えるか。

▶憲法が1946年11月に公布され、翌年5月に施行されたことが真に意味するのは何か。

▶次の〇〇を埋めてみると、何が見えてくるか。

▷「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍〇〇〇〇〇〇は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」（第九条）



▷「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの〇〇と〇〇を保持しようと決意した」（前文の一部）

いまの世界はいつまでも続く世界か

- ①国連は本当に「国連」か。
- ②去年から今年の大事件の連続は、根っこでどのように繋がっているか。

日本経済は甦るか

- ①なぜ1ドル=1円ではないのか。
- ②たとえば日本の潜水艦の技術は、どんな技術か。
- ③成長分野はもうないのか。
- ④中国、アメリカ、ドイツの経済はどうなる。

国民はみずからをどう護るか

- ①福島原子力災害に死者はいたか。負傷者はいたか。地震で壊れたか、津波で壊れたか。
- ②北朝鮮の脅威は核兵器だけか。
- ③イスラーム原理主義のテロはあるか。

日本が敗戦後、置き去りにしてきたものは何か

- ①わたしたちが60年以上、忘れていた領土はどこか。
- ②沖縄の「白梅の塔」に何を学ぶか。
- ③真の教育とは何か。
- ④実は「分断国家」であることを乗り越え、国民の新しい連帯をどう結ぶか。
- ⑤世界を歩こう。歩けば、何が見えるだろうか。

世界が壊れることは、敗戦国だった日本の新しい役割を今受けようとしているのです。

青山繁晴氏プロフィール

講演当時は、(株)独立総合研究所(独研)代表取締役社長兼首席研究員その後、同社を退社し参院議員に当選

作家、国家戦略アナリスト

文科相任命による文科省参与、経産相の諮問機関「総合資源エネルギー調査会」専門委員、海上保安庁長官任命による海上保安庁・政策アドバイザー、総務省による「NHK海外情報発信強化に関する検討会」委員  
総理任命による原子力委員会・原子力防護専門部会専門委員、総理任命による日本版NSC(国家安全保障会議)創立の有識者会議・議員  
近畿大学経済学部・客員教授(国際関係論)、防衛相の幹部研修講師、総務省の消防大学校講師、警察庁の関東管区警察学校講師  
奥様、青山千春博士は独自手法でメタンハイドレートを発見